



栃木県立足利南高等学校 平成 25 年度 総合学科通信 第 3 号

No.37
(2014/3/24発行)

校長より

総合学科発表会 ～集大成の行事～

校長 戸叶 行一

1月25日(土)、総合学科である足利南高の一年間の集大成とも言えるべき行事である総合学科発表会が行われました。PTA の方々、学校評議員、中学生、その保護者、他の県立高校総合学科の先生方も見学に来てくれました。午前中は各学年ごとに、1年生はライフプラン、2年生はミニ課題研究、3年生は系列ごとの課題研究の発表が行われました。それぞれの発表はたいへんよく練られており、説明もわかりやすく、内容的にも充実していました。見事な発表もさることながら、それを聞く側の生徒達の態度もたいへん立派でした。発表する側とそれを受け取る側の協力で、一層盛り上がりました。午後は体育館で器楽、声楽、ダンスの発表、寸劇、ファッションショーがあり、メディアホールでは社会人受講生も参加した演劇Ⅰ(現代劇)など、講座発表がありました。また体育館には3年生の研究ポスターや家庭・美術・書道の作品が展示され、生徒個人個人の努力の成果が表れていました。見学者の評判も上々でした。1月29日(水)には、メディアホールを舞台に、演劇Ⅱ(歌舞伎)の発表があり、3年生と地域の皆さんが見学しました。高校生と社会人の協力で、すばらしい舞台となりました。

特に、総合学科3年次の課題研究は総合学科教育の集大成であり、「自ら問題や課題を見つけ、その具体的な解決方法を考え工夫し実践する力」を育成するものです。この訓練は将来自分の力を頼りに社会の中で生きる将来の皆さんの大きな支えになるでしょう。1、2年生の皆さんも2年後、1年後を見据えて、着実に課題研究の歩みを進めていってほしいと思います。

総合学科としての足利南高校の特色を自分なりに生かし、生徒の皆さんがさらに成長・飛躍することを期待しています。

総合学科発表会

総合学科推進部長 藤谷 知仁

平成26年1月25日の土曜日に、平成25年度総合学科発表会が開催されました。1年生のライフプラン発表2名、2年生のミニ課題研究発表2名、3年生の課題研究から代表18名の発表と被服製作発表を行いました。各発表者とも研究を通して分かった事や自分の考えを堂々と発表してくれました。

午後は第1体育館とメディアホールの2会場で、講座発表会を行いました。第1体育館では、美術・書道・家庭科の作品展示・音楽科の独唱や合唱・ヴァイオリンの演奏・体育科のダンス・寸劇が上演されました。

寸劇とは体育科の健康管理の授業選択者が「あなたのすべてが好きだから……」と題し、HIV・エイズ問題をテーマにした内容で観客を感動させてくれました。メディアホールでは、普段の授業から一般の聴講希望者と学んでいる演劇Ⅰより「11ぴきのネコ」という演目でのミュージカルが上演されました。

来年度も今年度以上にすばらしい発表会にしたいと思っていますので、多くの方々のご来場をお待ちしております。



1学年主任より

「1年を振り返って」 1学年主任 安塚 正史



14期生が入学してから、早いものでもう1年が経ちます。入学式では、真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちで着席していた姿が思い出されます。今では、高校生という自覚を持ち始め、今後の生き方や進路について真剣に考え努力する様子が少しずつですが見られるようになってきました。総合学科である本校は、1年次に「産業社会と人間」という科目を毎週2時間実施してきました。その内容としては、色々な職業について知る職業ガイダンスや系統別進路ガイダンス、自分の進路にあった2、3年次の時間割作成、自分の将来の夢を文章に綴るライフプラン、グループで1つの課題について調べ研究発表を行うミニ課題研究など、この授業を通して生徒が自分自身をよく見つめ今後の進路について考えていきます。学

年末に「産業社会と人間」についてのアンケートを生徒からとりました。その中で、生徒が答えてくれた意見をいくつか紹介いたします。「こんなに自分の夢や職業について真面目に向き合い考えたことはありませんでした。とても大切な時間だと思いました。」「この時間を通して、これから自分がどうしていくべきかが分かったような気がします。」「自分の進路にきちんと向き合えたと思う。」「ライフプラン作成では、今不安に思っていることや気がかりなことを書くことができ少し不安が軽くなった。」「時間割作成では、作成した時間割がこれで良かったのかと今でも不安があります。」「高校での進路決定は将来にすごく関係することが分かった。」など、それぞれが自分の将来を考え希望や不安を抱えつつも、真剣に自分自身と向き合えたように感じます。今後は、この一年間の経験を生かし、自分の将来に向け生徒1人1人が更なる成長をしていくことを期待しています。

2学年主任より

「総合学習Ⅰを振り返って」 2学年主任 厚木 範之

本校では2年次に総合学習Ⅰを毎週月曜5時間目に行っています。主な学習内容は①ミニ課題研究、②修学旅行事前学習、③進路学習、④3年次の時間割見直し、⑤3年次課題研究テーマ設定等です。

- ① ミニ課題研究・・・1年次の3学期にミニ課題研究として修学旅行に関する沖縄の自然、観光、芸術、生活、食の5つのテーマからグループ研究の形式で行いました。2年次においては個人研究の形式で各自が異文化コミュニケーション、自然科学、芸術・スポーツ、情報メディア、生活デザインの5つの系列に分かれ、興味関心のあるテーマを設定し新聞、書籍、インターネット等で調べ研究内容をクラス毎で発表しました。
- ② 修学旅行事前学習・・・沖縄への事前学習として「月桃の花」の映画視聴を通しての沖縄戦や沖縄の歴史や基地問題など学びました。
- ③ 進路学習・・・進路ガイダンス、進路講話、スクールインターンシップⅡなどの行事を通して進路について考えを深めることができました。
- ④ 3年次時間割の見直し・・・自分の希望進路を考え、1年次で決めた科目の見直しが行われました。さらに3年次では現在行われているベーシックの授業がなくなる関係で新たに科目を選び直すということも行いました。
- ⑤ 3年次課題研究テーマ設定・・・系列の先生方のアドバイスを受けながら3年次の課題研究のテーマを設定しました。

以上、総合学習Ⅰを踏まえ、来年度毎週木曜日⑤⑥限に行われる課題研究をよりよいものしていければと思っています。さらに、進路実現に向け充実した研究活動ができればと思います。

3年間の思い出 ～担任団より～

3 学年担任団

1組（主任） 松嶋 典子

平成26年3月3日総合学科第12期生が、本校を卒業して行きました。この日はいつも泣くまいと思うのですが、今までのことをいろいろ思い出し、涙が止まらなくなるのです。東日本大震災の直後入学してきた生徒たちは、耐震工事などで様々な制限の中、自分たちのやるべきことをきちんとこなしていききました。総合学科という独特なカリキュラムを考えながら突き進んだ生徒たちは、今後の人生にきっと役立つ大きな経験をしました。

これから進む道は、決して楽ではないかも知れませんが、勇気と自信を持って頑張りたいと思っています。皆さんの今後の活躍に期待しています。



2組 田村 渉



2014年3月3日、足利南高校総合学科12期生182名卒業。これが、自分の教員人生初の卒業式となりました。大人になる上で、最低限必要なことはきちんとできるようになって卒業していった欲しい。そんな想いで日々指導し続けた3年間でした。初担任だったこともあり、時に生徒のみんなを不安にさせる頼りない担任だったと思いますが、それとは裏腹に、きちんと考え、行動し、こちらの期待に応えてくれたみんなに、今は感謝の気持ちでいっぱいです。3年間で人はこんなにも成長できるんだということを、改めて教えてもらいました。人生これからが本番です。

足利南高校で培ったものを糧に、時に辛く苦しい社会を、時に楽しく面白い人生を、たくましく生き抜いていって下さい。高校生活3年間という輝かしい日々を、みんなと共に歩むことができて幸せでした。ありがとう。

3組 木村 竜也

今年度赴任7年目、卒業生を送り出すのは2回目となります。赴任7年のうち6年間に担任としてクラスの生徒とともに学校生活を送ってきましたが、本当にあっという間だったと思います。式での答辞では色々思い出し、もうここでこの子達と勉強することも無いのだと思うと込み上げるものがありました。そして毎朝SHRで生徒と顔を合わせ、第1希望の進路を叶えるために色々話をしてきましたが、卒業のその日全てが報われた気がします。

別れは寂しくもありますが、3年間付いてきてくれたことに感謝しつつこれからの活躍を期待したいと思います。



4組 寺内 美香

2014年3月3日…総合学科12期生の卒業式が行われました。入場する生徒の顔は、はにかみながらも誇らしく、3年間の高校生活での成長を感じました。入学当初、人前で話すことを苦手としていた生徒も多かったと思います。

「産業社会と人間」のライフプラン発表、「総合学習Ⅰ」のミニ課題研究発表、「総合学習Ⅱ」の課題研究発表…人前に立つことをたくさん経験してきました。どうすれば相手に伝えられるのか考え工夫し、手が震え、声が震えながらも一生懸命発表していた生徒たちの姿を思い出しました。その生徒たちが、卒業証書を受け取る姿、泣きながら送られる姿、全てが嬉しく涙が出てしまいました。

人が頑張る姿は、人を感動させ、人が成長する姿は、人を喜ばせます。これからのみなさんには、まだまだ人に感動や喜びを与える力に満ちあふれています。自分を信じて、自信をもって生きていって下さい。12期生の活躍を期待しています。



5組 小椋 康裕



卒業式では、我々3学年団を温かく見守ってくださり、そして厳粛な雰囲気の中で卒業生を送り出せたこと、皆様に感謝申し上げます。答辞や卒業生による合唱、校歌斉唱と式が終わりに向かうに連れて、卒業生一人一人の顔を見ていますと自然と涙が溢れてきました。

入学した当初、進路希望や夢・目標など何も決まっていなかったような生徒も多かったと思います。しかし、総合学科での様々な活動を通して大きく成長し、自己実現を達成してくれました。1年次の「産業社会と人間」では、よく自分を見つめることで夢

を明らかにし、2年次の「総合学習Ⅰ」では、より進路を意識する中で具体的な目標を立て、3年次の「総合学習Ⅱ」での課題研究では、徐々に進路実現に向けて自信をつけていくようになりました。

成功の仕方を学んだ総合学科での経験を活かし、これからもさらに自分を磨いて、それぞれ豊かな人生を歩んで欲しいと思います。期待しています。全力を尽くせ！



発行：栃木県立足利南高等学校
TEL：0284-72-3119（事務室）
TEL：0284-72-3118（職員室）

教務部広報係
FAX：0284-73-2772